

取扱説明書

X2M-C

MULTI GAUGE ø60

EURO SPEC

この度はPIVOT X2M-C MINI専用用品をお買い上げ頂きありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管してください。
なお、説明書の再発行は有償となります。

<p>警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●製品は安全な場所へ確実に固定する 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると運転操作が行えず大変危険です。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●配線はテープなどで収納する 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用で、それ以外の電圧には装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなっていますのでご注意ください。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。 ●高温となる場所や水のかかる場所へ装着しない 故障の原因となります。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●眩しく感じる場所へ装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	--

1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。
2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。
3. 他のPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。⇒ http://pivotjp.com/information/obd_conjunction.html

対応車

本製品は下記以外のMINIには装着できません。

車名	タイプ	年式	車種型式	エンジン型式
COOPER S	R56	H19.2~	MF16S	N14B16A
COOPER S CLUBMAN	R55	H19.10~	MM16	

※マイナーチェンジ等により対応年月を満足していても、取付できない場合があります。

内容物をご確認ください



X2M-Cの特長

X2M-Cは故障診断コネクタに差し込むだけでMINI専用のCAN通信を解析し、2種類を切替表示できるメーターです。(対応車以外は不可)

2種類表示	ブースト・水温の2種類を切替表示
スムーズ動作	独自制御で滑らかな針動作
同色イルミ	純正同色のオレンジ照明
ピークホールド	ピーク値を表示
簡単装着	故障診断コネクタに差し込む簡単装着
ステッピングドライブ	高精度ステッピングモーター採用で高精度表示

オープニングデモ

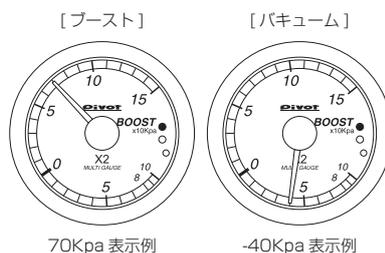
オープニングデモの針の動きはマイナス方向に小刻みに複数回動き、その後最大値を指し、現在の表示項目に移行します。

イルミ (文字板照明)

動作中は常時点灯状態ですがLEDのためクルマへの負担や寿命には影響ありません。

各表示と用途

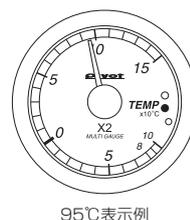
1. ブースト (絶対圧表示※)



▶表示 -100~150Kpa
▶用途 ●ブーストチェック
●エコ走行用 [バキューム]
※ 絶対圧表示は気圧を含みますので相対圧(機械式)と多少数値が異なる場合があります。
※ キー ON 時のブースト指針は標高に応じて多少マイナスの表示となる場合があります。

⚠ ブーストリミッターカットをしている場合は正常に表示できない場合があります。

2. 水温



▶表示 -40°C~150°C
▶用途 ●オーバーヒート
●暖機チェック など

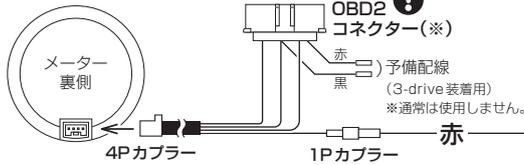
3. ピークホールド

キー ONからのピーク値を表示します。

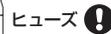
▶用途 各ピーク値の確認

配線接続方法

各配線はエンジンをOFFにし、キーを抜いた状態で行ってください。



電源接続
(IGN=キーONで12V)
【常時電源は不可】

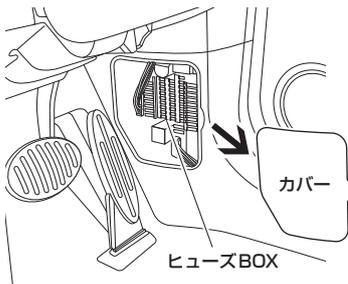


※差し込む際はコネクタの向きをご確認ください。

1 電源接続を行う

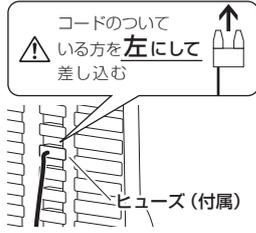
下記はBMW MINI クーパー S MF16SでヒューズBOXへ配線する場合の一例です。その他の車種で不明な場合はディーラー等でご確認ください。

1 ヒューズBOXのカバーを外す



運転席右横のカバーを⊖ドライバーなどを使って外します。

2 指定ヒューズへ接続する



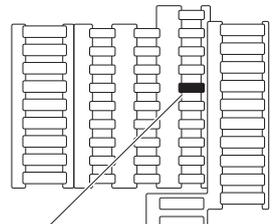
ヒューズBOXのIGN供給できるヒューズ(キーONで12V、常時電源は不可)を抜き、付属のヒューズ電源コードをそこへ接続します。

※7.5Aのミニヒューズ以外から電源を取りたい場合は市販のヒューズ電源をご使用ください。

【参考1】指定ヒューズ位置例

BMW MINI クーパー S MF16Sの場合 (右ハンドル車・2008年モデル)

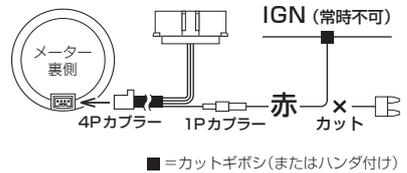
(ヒューズBOX正面)



位置=左から4列目、上から5段目
番号=32または34 容量=7.5A

！ こんなときは ヒューズBOXで電源が取れない場合

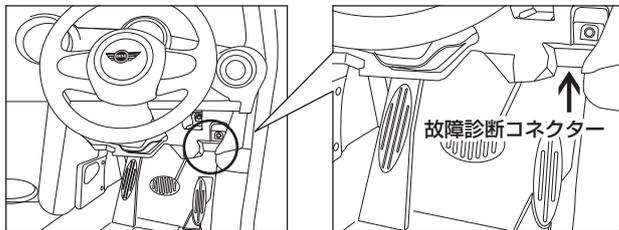
ヒューズBOXで電源が取れない場合は、IGN(キーONで12V、常時電源は不可)へ直接配線を行ってください。



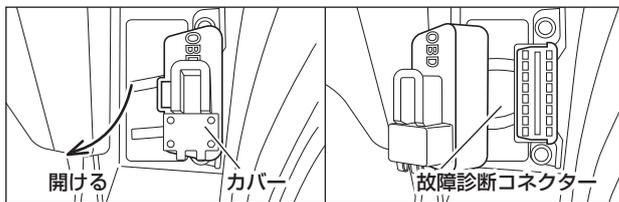
※OBD2コネクタから出ている赤コードへは接続しないでください。

2 OBD2コネクタを接続する

1 診断コネクタ位置を確認する

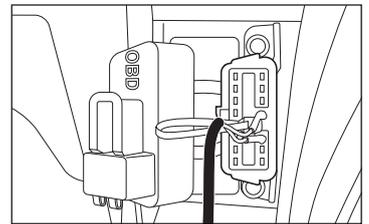


2 カバーを開ける



3 OBD2コネクタを根元まで差し込む

サーバーから出ているOBD2コネクタを故障診断コネクタの根元まで差し込み、ヒューズ電源コードを1Pカプラーへ接続します。



【参考2】OBD2コネクタの取扱注意

！ 注意

抜き取り時にコードを持って引き抜くと断線の恐れがありますので絶対に行わないでください。

差し込み時/抜き取り時はこの凸部を持って行う。

凸部が握れない場合

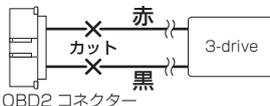
車種により、コネクタが奥まで入り凸部が握れない場合があります。

インシュロックの輪の部分を持って引き抜く。

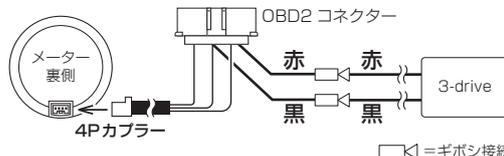
！ こんなときは PIVOT製3-driveシリーズと併用する場合

3-driveのOBD2コネクタをカットし、X2M-Cメーターのコネクタから出ているコードにギボシ接続します。

- ① 車輻側の故障診断コネクタからOBD2コネクタを抜く。
- ② OBD2コネクタから出ているコードを適当な位置で切断する。



- ③ 黒、赤コードにギボシを付け、確実に接続する。
⇒【参考3】オスギボシの使い方



【参考3】オスギボシの使い方

<p>1 コードの先端を10mm位むく。</p>	<p>2 かしめるコードの芯線を折りたたむように太くする。</p>	<p>3 カバーを通しておく。</p>
<p>4 圧着部にコードをセットする。</p>	<p>5 内側の圧着部と芯線を確実にかしめる。</p>	<p>6 外側の圧着部を被ふくの上からかしめる。</p>

※オス・メスギボシは接続後オスカバーがメスカバーの内側へ入り込むようにしっかりネジ込んでください。

！ こんなときは PIVOT製PROGAUGE・REV LAMPシリーズと併用する場合

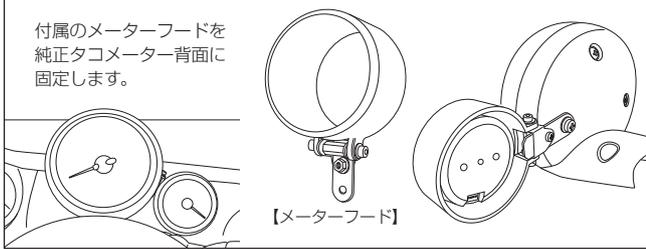
別売の「OBD2配線キット」(OBD-EH 税込¥3,360)をお使いいただくか、PROGAUGE・REV LAMPを直接配線にてお取り付けください。

製品の固定

純正のタコメーター右側に専用メーターフードでの固定をおすすめしますが、お好みの場所や他社のメーターフード等にも通常のメーターと同様に装着いただけます。

装着方法 A タコメーターの右側に装着する

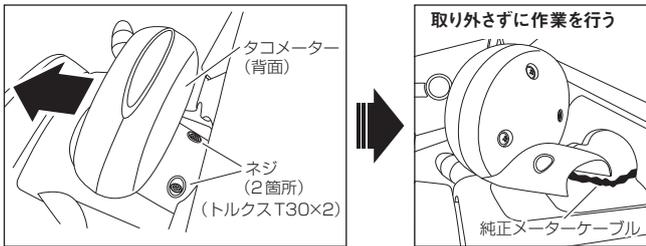
付属のメーターフードを純正タコメーター背面に固定します。



【メーターフード】

1 純正タコメーターを外す

純正タコメーター背面の台座の部分にある2箇所のネジ（トルクスT30×2）を外し、メーターを手前に引き出します。（純正タコメーターの配線はステアリングコラムカバー内までつながっているため取り外せません。配線を引き出したままで作業を行ってください。） ※外したネジはなくさないようにしてください。



取り外さずに作業を行う

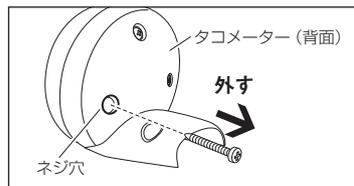
タコメーター (背面)

ネジ (2箇所) (トルクスT30×2)

純正メーターケーブル

2 純正タコメーター背面のネジを外す

純正タコメーター背面の左のネジ穴にあるネジを外します。
※外したネジは大切に保管してください。



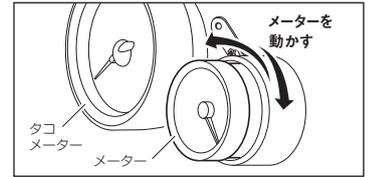
タコメーター (背面)

外す

ネジ穴

3 メーターの差し込む角度を決める

メーターフードにメーターを差し込み、2でネジを外したタコメーター背面のネジ穴とステーの穴部分を合わせ、メーターの差し込む角度を決めます。



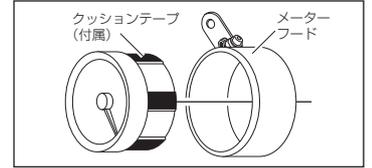
メーターを動かす

タコメーター

メーター

4 メーターフードにメーターを固定する

メーターのケース部に付属のクッションテープを貼り、3で決めた角度でメーターフードに差し込み固定します。

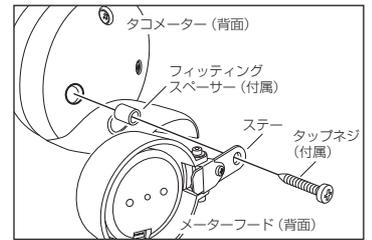


クッションテープ (付属)

メーターフード

5 メーターフードをネジで固定する

① 2でネジを外した純正タコメーターのネジ穴に付属のフィッティングスペーサーを差し込みます。
② ネジ穴とステーの穴部分を合わせ、付属のタップネジを使用してステーを固定します。



タコメーター (背面)

フィッティングスペーサー (付属)

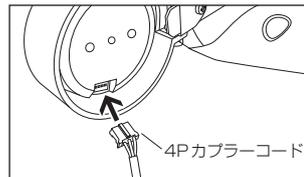
ステー

タップネジ (付属)

メーターフード (背面)

6 4Pカプラーコードを接続する

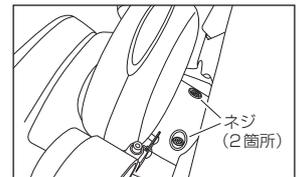
配線接続方法(⇒2ページ)を参照し、メーター裏の4Pカプラーに差し込んでください。



4Pカプラーコード

7 タコメーターを元の位置に戻す

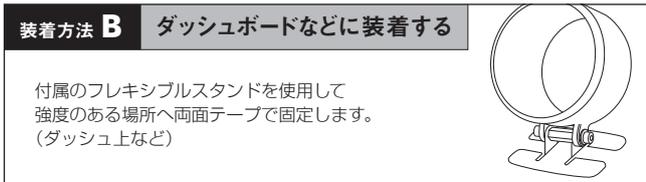
1と逆の手順で純正メーターを元の位置に戻し、ネジで確実に固定します。



ネジ (2箇所)

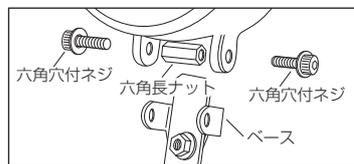
装着方法 B ダッシュボードなどに装着する

付属のフレキシブルスタンドを使用して強度のある場所へ両面テープで固定します。（ダッシュ上など）



1 メーターフードのベースを外す

メーターフードのベースを外します。
※外した部品はなくさないようにしてください。



六角穴付ネジ

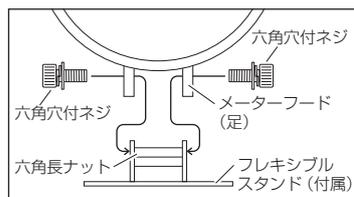
六角長ナット

六角穴付ネジ

ベース

2 フレキシブルスタンドを取り付ける

① 六角長ナットをフレキシブルスタンドの立ち上げ部の間へ入れます。
② 六角穴付ネジを締め込んで固定します。



六角穴付ネジ

六角穴付ネジ

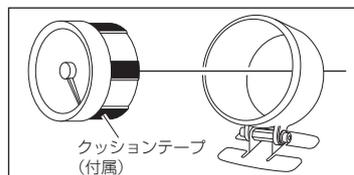
六角長ナット

メーターフード (定)

フレキシブルスタンド (付属)

3 メーターを固定する

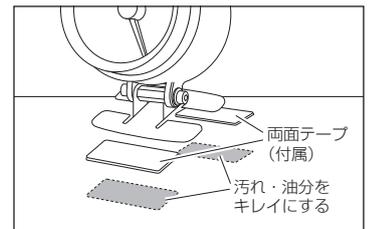
メーターのケース部に付属のクッションテープを貼り、メーターフードに差し込み固定します。



クッションテープ (付属)

4 スタンドを取り付ける

① 取付場所にピッタリ付くようにスタンドを曲げます。
② 取付場所の油分や汚れ等を確実にキレイにします。
③ 両面テープにて貼り付けます。
※貼り直しは粘着力が低下するため行わないでください。

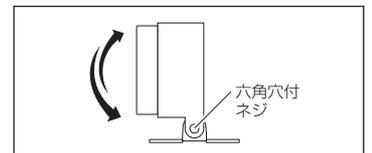


両面テープ (付属)

汚れ・油分をキレイにする

5 メーターの角度を調整する

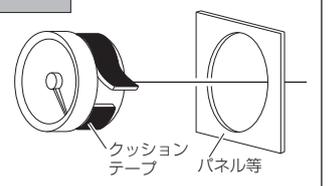
六角穴付ネジをゆるめ、角度を決めます。ネジを確実に締め込んで固定します。



六角穴付ネジ

装着方法 C パネルなどに埋め込む

メーターの根元にクッションテープを巻き、直径60mmの穴に圧入状態で差し込みます。



クッションテープ

パネル等

各部の名称

1 モードランプ

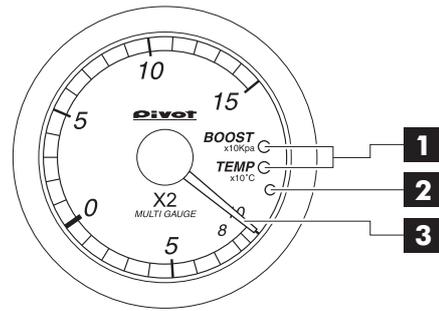
使用しているモードを表示。

2 スイッチ

モード切り換えやピーク値表示用。

3 針

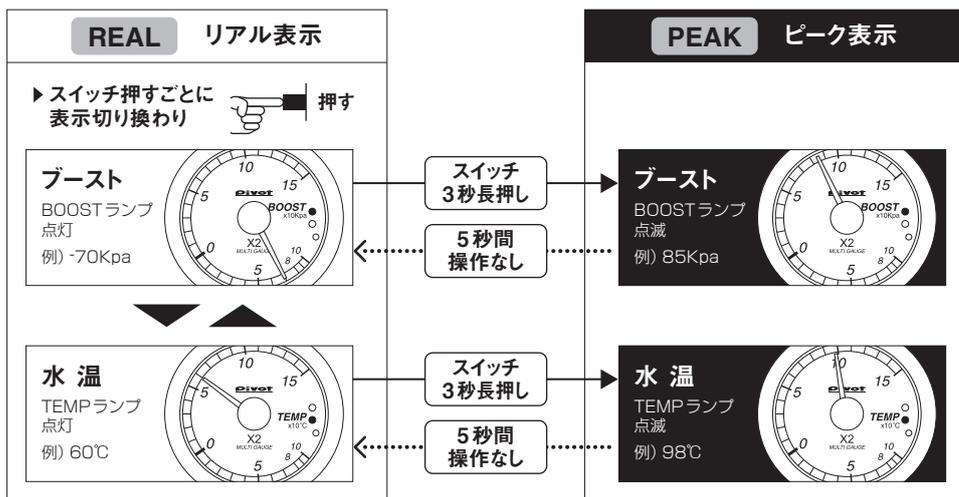
現在の数値やピーク値を指します。



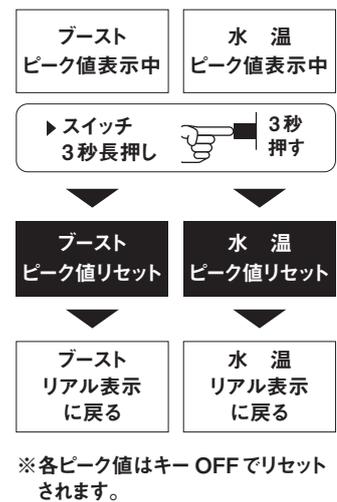
基本操作方法

- 1 キースイッチ ON (エンジン始動)
- 2 オープニング デモ
- 3 ブースト/水温表示
- 4 キースイッチ OFF (エンジン停止)
- 5 メーター OFF 特性上、針はキー OFF 時の位置で止まります。

各表示切換



ピーク値のリセット方法



故障と思われるまでに

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	4P コネクター、OBD2 コネクター、ヒューズ電源の接続不良。	4P コネクター、OBD2 コネクター、ヒューズ電源の接続状態を確認する。
	電源を直接配線した場合の赤コードの配線間違いか接触不良。	赤コードの接続場所及び接触状態をご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側の ECU の情報で、一部車種で純正や他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
ブースト圧表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品のブースト計は絶対圧式で、相対圧式のメーターとは表示がズれる場合があります。	
キー ON 時ブースト指針がマイナスになる。	絶対圧センサーは気圧分をマイナスして表示します。(例: 標高 700m 地点 = マイナス 8Kpa)	
始動時、切り換えたモードから始まらない。	モード切り換え後 3 秒以内にエンジンを停止すると設定は記憶されませんので 3 秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で異常ではありません。	